



Produced by SPECIAL PARTS TAKEGAWA

D-タイプLCD アルファ仕様
スピード&タコメーター取扱説明書
12Vモンキー、12Vゴリラ、エイブ50/100
商品番号09-01-0050

このたびは、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

☆注意

- この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。
・一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
・作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

☆警告

- この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。
◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

○走行速度表示機能について

- ・LCDスピードメーターはSTDのメーター同様、メーターケーブルの回転速度をもとにスピードを表示する仕組みになっています。
・運転者に注意を促す速度警告灯付きの車両に取り付ける場合、スピードメーター変換後はその機能が無くなりますのでご注意ください。
・オドメーター機能(走行距離計)
・最高表示速度は、250km/h。

○エンジン回転数表示機能について

- ・LCDタコメーターはハイテンションコードより点火パルスを読み取りエンジン回数を表示する電気式タコメーターです。
・当社インナーローター（商品番号 05-02-031・05-02-051）での作動可能(別途電源必要)。
・ポイント点火、エンジンの種類によっては正確に表示がされません。
・最高表示回転数は、30,000rpm。

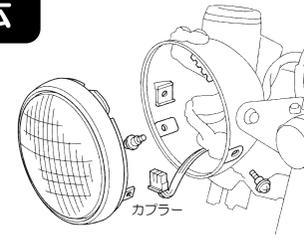
商品内容

Table with 2 columns: 部品名, 数量. Items include D-タイプLCD S&Tメーター, 電源用配線, パルス入力配線A, パルス入力配線B, 熱収縮チューブ, メータークッション, 取扱説明書.

① 取り付け方法

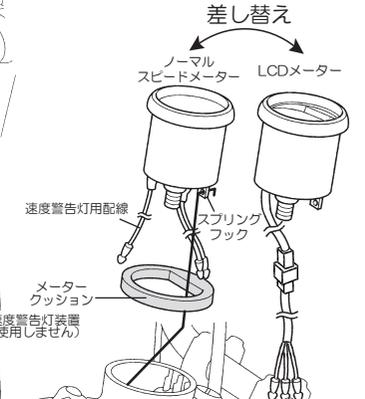
●ヘッドライトの取り外し。

- ・スクリュー2本を外しヘッドライトケースからヘッドライトを外してください。
その時、カブラーの接続も外してください。



●ノーマルスピードメーターの取り外し。

- ・ケーブルロックナットを回してスピードメーターケーブルの接続を外し、メーターから接続されているギボシをすべて抜いてください。
・フックからセッティングスプリングを外すとメーターを上方に取り出すことが出来ます。
・速度警告灯装置は必要なくなりますので、取り外してください。



●LCDスピードメーターの取り付け。

ノーマルメーターの取り外しと逆の手順でLCDメーターを取り付けてください。

- ・付属のメータークッションをLCDメーターに取り付けてください。
・LCDメーターの配線コードは+配線(黒)と-配線(緑)、タコメーター配線(茶)となります。

黒、緑、茶、各配線の接続方法は

②メーター電源の接続

③パルス入力コードの接続

に記載しております。

●走行前に作動確認を行ってください。

- メインキーONで電源が入ります。
※ブルーのバックライトが点灯してからデジタルの表示が出るまで約5秒ほど時間が掛かります。

ご注意ください

◎液晶の性質として、長い時間、直射日光を受けると画面が真っ黒になってしまいます。
◎本製品は完全防水ではありません。
◎バッテリー、プラグ、配線の状態（取り回しや、接続状況）によってはメーター数値表示の乱れなど、不具合が生じる可能性があります。

◎装着時は各部(特に配線、点火系、バッテリー)の点検をしっかりと行い、装着後も必ず定期的に点検をしてください。

② メーター電源の接続

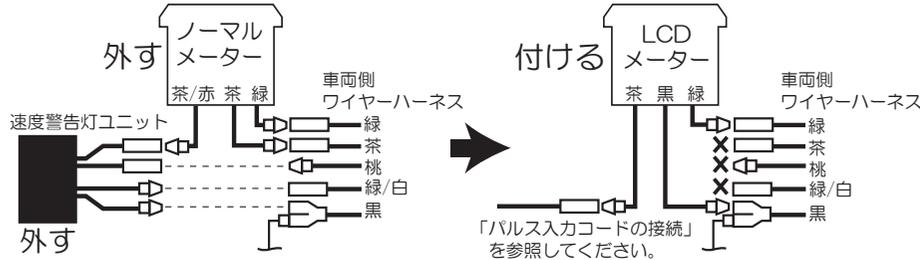
●LCDメーター
プラスコード(黒) マイナスコード(緑)

●走行前に作動確認を行ってください。

- ・モンキーの場合はメインキーONで、エイブはエンジン始動でメーターの電源が入ります。
- ・ご使用前には各部(特に配線、点火系、バッテリー)の点検をしっかりと行い、必ず定期的に点検をしてください。

モンキー、ゴリラ

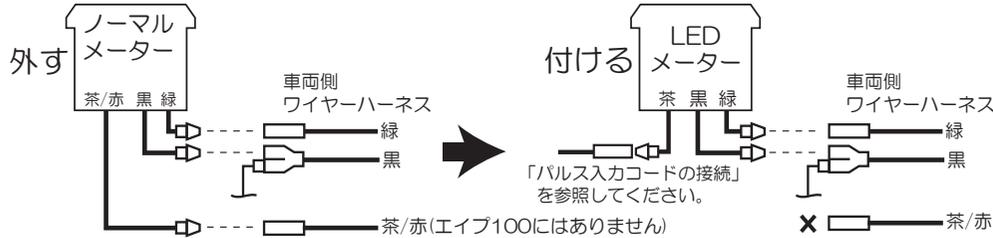
下図で×印のついているコネクタは使用しませんので、絶縁テープなどを巻き配線がショートしないよう処理してください。



★STDメーターの照明用の茶コードへのプラスコード接続は絶対に行わないでください。

LCDメーターの電源用コードの色はプラス側が黒コード、マイナス側が緑コードです。LCDメーターの黒コードは速度警告装置が接続されていた車両ワイヤーハーネスの黒コードへ接続してください。
茶コードはエンジン回転数により周波数、最大電圧の変わる交流電源です。LCDメーターに使用すると、LED夜間照明のショートや誤作動など、メーターとしての機能に支障をきたす恐れがありますので絶対に接続しないでください。
正しい配線ではメインキーONでメーターの電源が入ります。
×エンジンを始動に伴い、メーター電源が入る場合は配線が間違っています。
正しい配線でも充電能力の無くなったバッテリーを使用しますと、過電圧になりLED夜間照明がショートし点灯しなくなるなどの恐れがあります。(LED夜間照明修理不可能)
定期的にバッテリー点検をしてください。

エイブ



★ヘッドランプバルブやテールバルブの球切れにご注意ください。

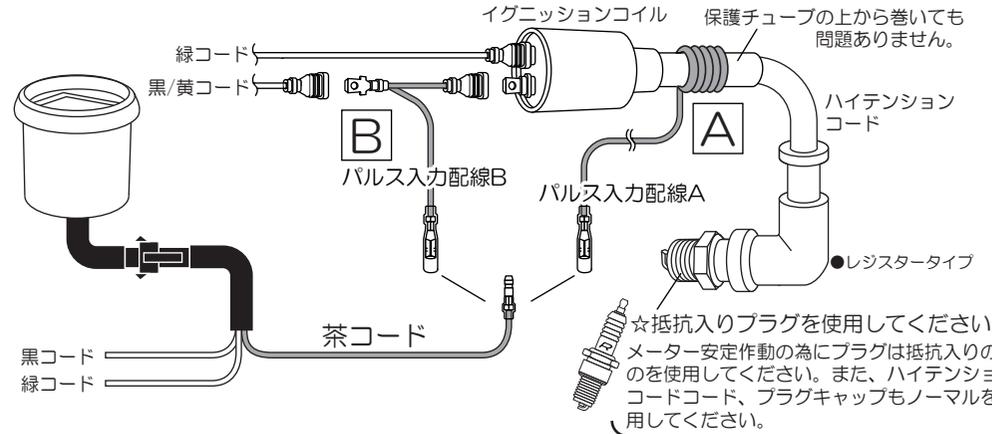
エイブはヘッドランプなどのワット数の多いバルブが切れますと消費出来ない電力分、電気系全体での電圧が上がってしまい、他のバルブに負担を与えます。そのままにしておきますと過電圧で球切れを起こしてしまいます。LCDメーター内のLED夜間照明も電圧が上がった場合に過電流が起こり、そのまま使用し続けると、LEDの寿命が短くなるばかりでなく故障してしまう恐れがあります。
ランプへの配線を遮断するだけの簡易ON/OFFスイッチはOFFにすると上記同様バルブ切れの状態になりますので絶対に取り付けしないでください。

アイドリング回転数にご注意

エイブでキック始動時の不安定電圧によるメーターの誤作動を防ぐ為に約1400RPM以下時の電圧(約9V)では表示の電源がONにならない仕組みを採用しております。(LED照明は点灯します)
そのため、エンジンが始動していてもアイドリング回転数が前記よりも低い場合や、消費電力の多い電装社外品を取付けていて、約1400RPM以上の回転数であっても電圧が低い場合は電源がOFFになります。
そのような場合アイドルストップスクリュウでアイドリング回転数を上げてください。

③ パルス入力コードの接続

●LCDメーター
パルス入力コード(茶)



モンキー、ゴリラ

チューンナップ車両は **A**
ノーマル車両は **A** 又は **B**

★A、B接続どちらでも作動しますが、チューンナップ車両、ノーマル車両、両方でA接続を推奨します。
チューンナップ車両で高回転まで使用する場合は、必ずA接続にしてください。配線がシンプルなB接続はノーマル車両専用です。

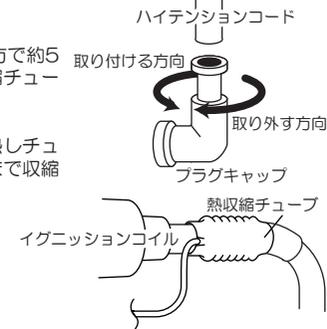
エイブ

エイブは必ず **A**

★エイブの場合はA接続で取り付けを行なってください。
電気式タコメーターは、点火に乱れがありますと正確に数値を測定できません。高回転での点火をより正確するために当社製Ape用「ハイパーC.D.I」商品番号07-02-19の取り付けを推奨いたします。

A ハイテンションコードに巻きつける方法

- ・ハイテンションコードからプラグキャップを外します。
- ・付属のパルス入力配線Aをハイテンションコードのイグニッションコイルに近い方で約5周巻きつけ、絶縁テープなどでたるまないよう仮止めしてください。あとで熱収縮チューブを通しますのでテープの巻き過ぎで太くならないように注意してください。
- ・ハイテンションコードの保護チューブの上から巻いても問題ありません。
- ・テープで配線を仮止めしている部分に熱収縮チューブを通し、ドライヤーなどで熱しチューブを収縮させてください。チューブの収縮温度は90℃以上で、約50%の内径まで収縮します。
- ・最後にプラグキャップをしっかりと取り付けください。



危険

タンクにガソリンがあり、大変危険ですので、ライターなどの火を使いチューブを収縮させることは絶対に止めてください。

B イグニッションコイルに直接接続する方法

- ・付属のパルス入力配線Bを使いイグニッションコイルに接続されている黒/黄コード端子に図中Bのように接続してください。
- ・このとき緑コード側に接続してしまいますと作動しませんのでご注意ください。
- ・この接続はチューンナップ車両には向いておりません。上のA接続を行ってください。

2種類の取り付け方法について

2種類の取り付け方法どちらも表示されるエンジン回転数は基本的に変わりません。
数値表示が不安定になってしまった場合、ハイテンションコードに巻きつける方法の方がタコメーターの数値表示が安定する場合があります。また、ハイテンションコードに配線を巻いて使用の場合、巻き回数を減らす、増やす、巻く位置を変えるなどで数値表示で不安定だったのが直り、安定する場合がありますので試してみてください。